

## 第57回プリオン専門調査会

# 評価結果のまとめ(案)

## 暫定版

## 評価結果のまとめ(案) (A国)

侵入リスク:「無視できる」～「非常に低い」のみ  
 国内安定性:次第に改善  
 食肉処理工程における低減効果:「大きい」

## &lt;侵入リスク&gt;

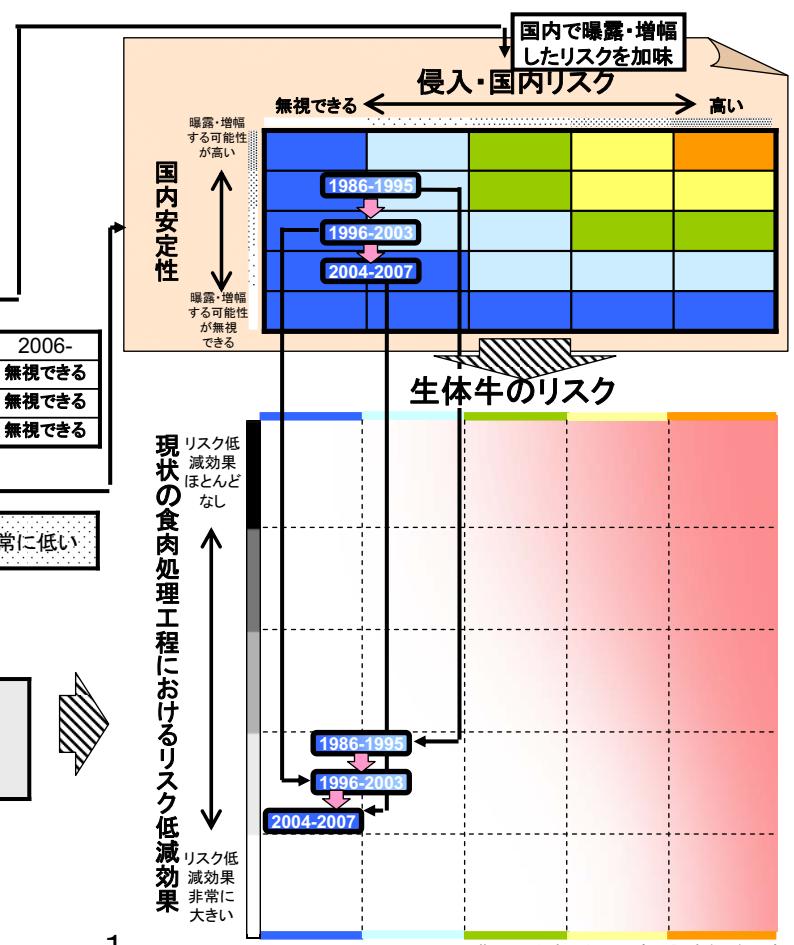
	1986-1990	1991-1995	1996-2000	2001-2005	2006-
生体牛	無視できる	非常に低い	無視できる	無視できる	無視できる
肉骨粉	無視できる	無視できる	無視できる	非常に低い	無視できる
全体	無視できる	非常に低い	無視できる	非常に低い	無視できる

## &lt;国内安定性&gt;

曝露・増幅する可能性	中程度	低い	非常に低い
	1986	1996	2004

## &lt;現状の食肉処理工程におけるリスク低減効果&gt;

現状の食肉処理工程におけるリスク低減効果	リスク低減効果 大きい
----------------------	----------------



## 評価結果のまとめ(案)(B国)

### 国内リスクを考慮しない場合

侵入リスク:「中程度」～「高い」の期間あり

国内安定性:次第に改善

食肉処理工程における低減効果:「非常に大きい」

#### <侵入リスク>

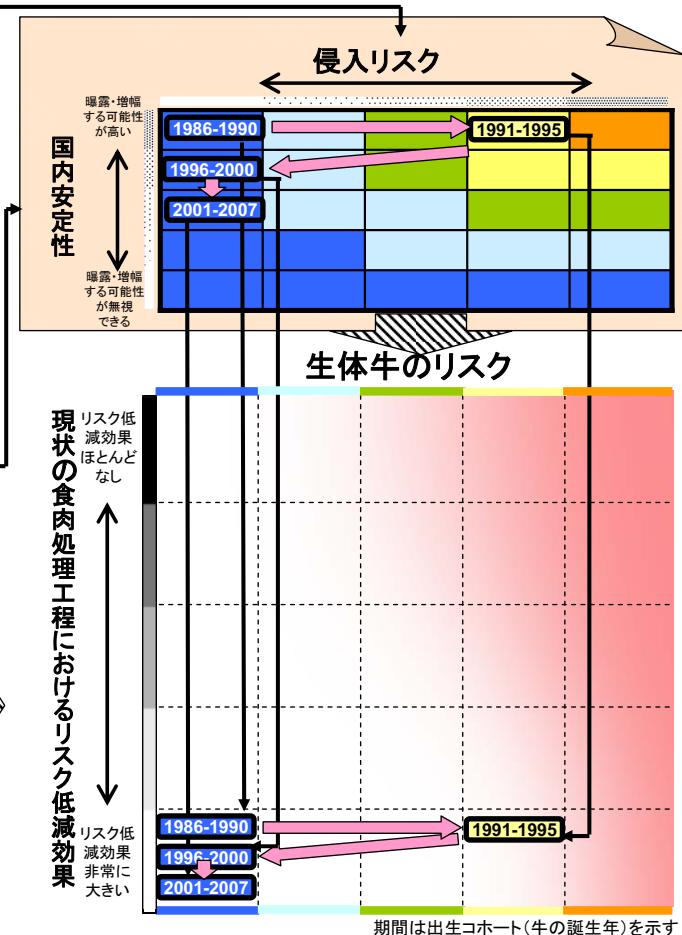
	1986-1990	1991-1995	1996-2000	2001-2005	2006-
生体牛	無視できる	中程度	無視できる	無視できる	無視できる
肉骨粉	無視できる	低い	無視できる	無視できる	無視できる
全体	無視できる	中程度	無視できる	無視できる	無視できる

#### <国内安定性>



#### <現在の食肉処理工程におけるリスク低減効果>

食肉処理工程におけるリスク低減効果	リスク低減効果 非常に大きい
-------------------	-------------------



## 評価結果のまとめ(案)(B国)

### 国内リスクを考慮した場合

侵入リスク:「中程度」～「高い」の期間あり

国内安定性:次第に改善

食肉処理工程における低減効果:「非常に大きい」

#### <侵入リスク>

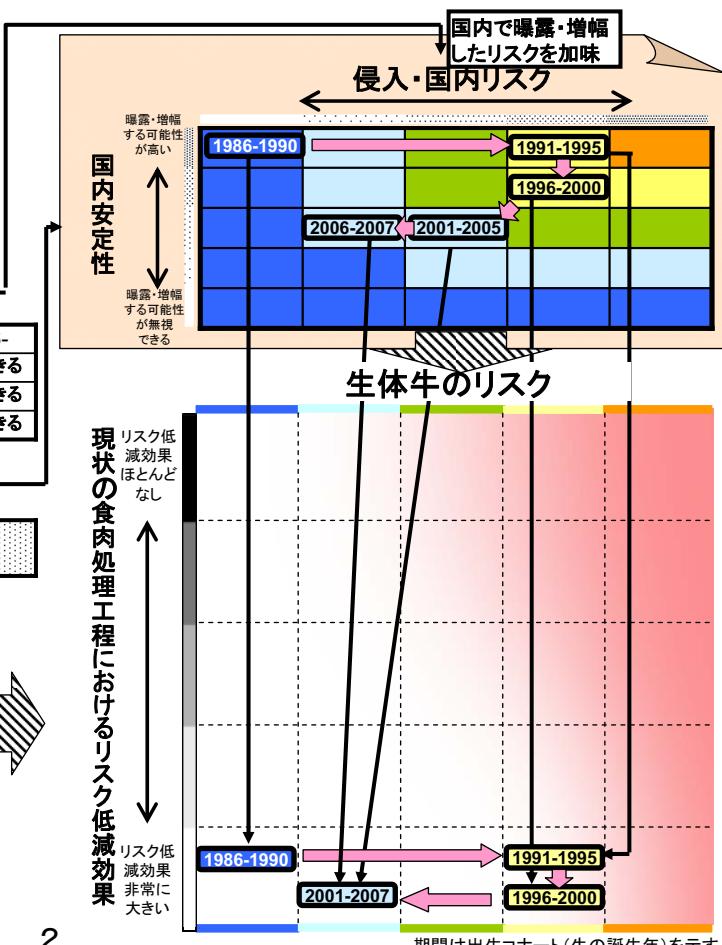
	1986-1990	1991-1995	1996-2000	2001-2005	2006-
生体牛	無視できる	中程度	無視できる	無視できる	無視できる
肉骨粉	無視できる	低い	無視できる	無視できる	無視できる
全体	無視できる	中程度	無視できる	無視できる	無視できる

#### <国内安定性>



#### <現在の食肉処理工程におけるリスク低減効果>

食肉処理工程におけるリスク低減効果	リスク低減効果 非常に大きい
-------------------	-------------------



## 評価結果のまとめ(案)(オーストラリア)暫定版

### <侵入リスク>

	1986-1990	1991-1995	1996-2000	2001-2005	2006-
生体牛	非常に低い	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる
肉骨粉	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる
全体	非常に低い	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる

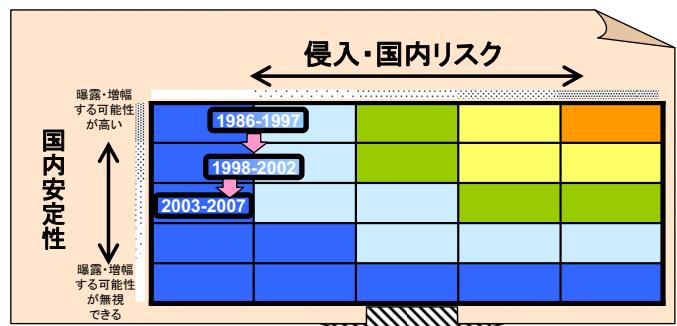
### <国内安定性>

曝露・増幅する可能性	高い	中程度	低い
	1986	1998	2003

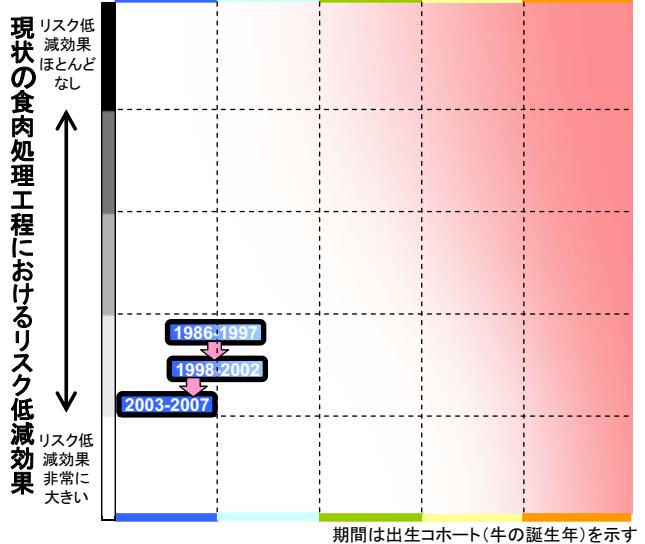
### <現在の食肉処理工程におけるリスク低減効果>

食肉処理工程におけるリスク低減効果	リスク低減効果 大きい
-------------------	----------------

### 総合評価(案)



### 生体牛のリスク



期間は出生コホート(牛の誕生年)を示す

## 評価結果のまとめ(案)(メキシコ)暫定版

### <侵入リスク>

	1986-1990	1991-1995	1996-2000	2001-2005	2006-
生体牛	無視できる	非常に低い	中程度	低い	無視できる
肉骨粉	無視できる	無視できる	非常に低い	非常に低い	無視できる
全体	無視できる	低い	中程度	低い	非常に低い

\*回答書は2000年以降のデータのみであり、現在追加確認中のため、ここでは暫定的に貿易統計のデータを用いた。

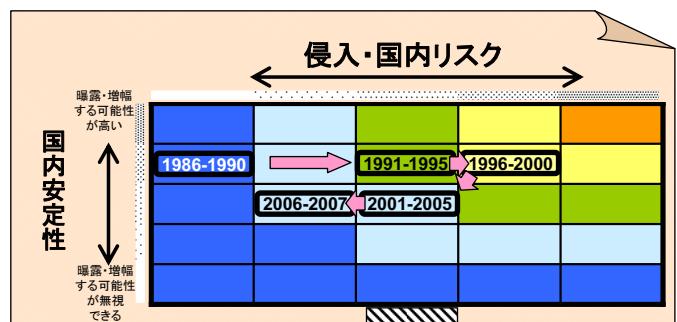
### <国内安定性>

曝露・増幅する可能性	中程度	低い
	1986	2001

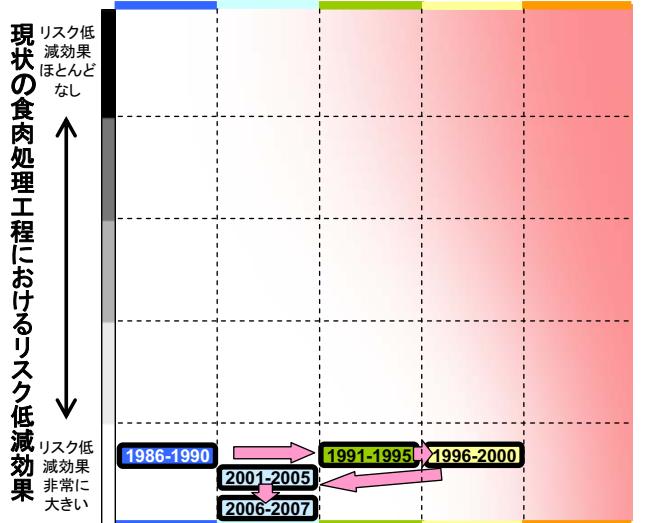
### <現在の食肉処理工程におけるリスク低減効果>

食肉処理工程におけるリスク低減効果	リスク低減効果 非常に大きい
-------------------	-------------------

### 総合評価(案)



### 生体牛のリスク



## 評価結果のまとめ(案)(チリ)暫定版

### <侵入リスク>

	1986-1990	1991-1995	1996-2000	2001-2005	2006-
生体牛	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる
肉骨粉	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる
全体	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる

\*回答書のデータを用いた場合。(貿易統計を用いると1991~1995年は「低い」、2001年以降は「中程度」となる)

### <国内安定性>

曝露・増幅する可能性	高い	中程度	低い	非常に低い
	1986	2001	2002	2005

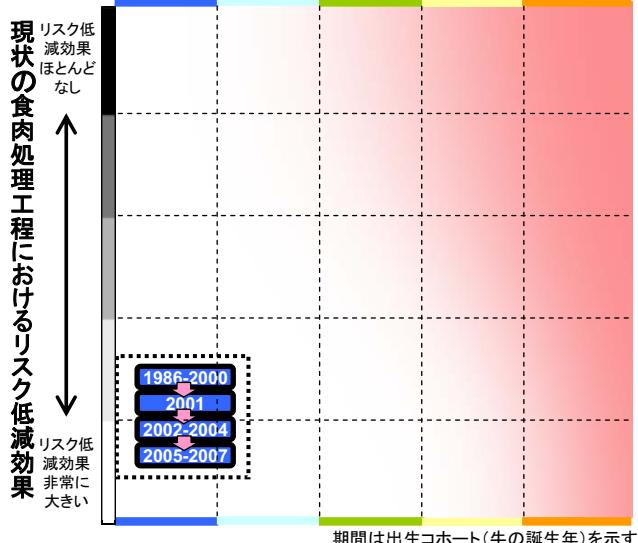
### <現在の食肉処理工程におけるリスク低減効果>

食肉処理工程におけるリスク低減効果	リスク低減効果非常に大きい～大きい
-------------------	-------------------

### 総合評価(案)



### 生体牛のリスク



## 評価結果のまとめ(案)(ブラジル)暫定版

### <侵入リスク>

	1986-1990	1991-1995	1996-2000	2001-2005	2006-
生体牛	無視できる	低い	無視できる	無視できる	無視できる
肉骨粉	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる	無視できる
全体	無視できる	低い	無視できる	無視できる	無視できる

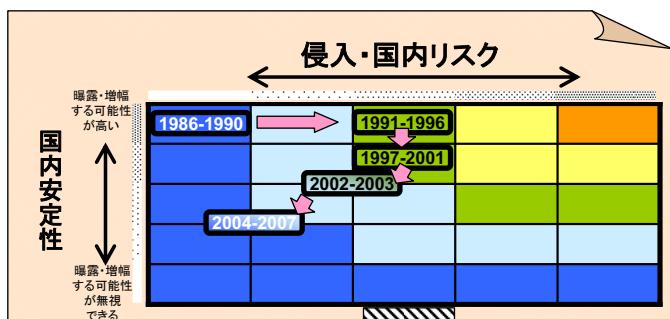
### <国内安定性>

曝露・増幅する可能性	高い	中程度	中程度～低い	低い～非常に低い
	1986	1997	2002	2004

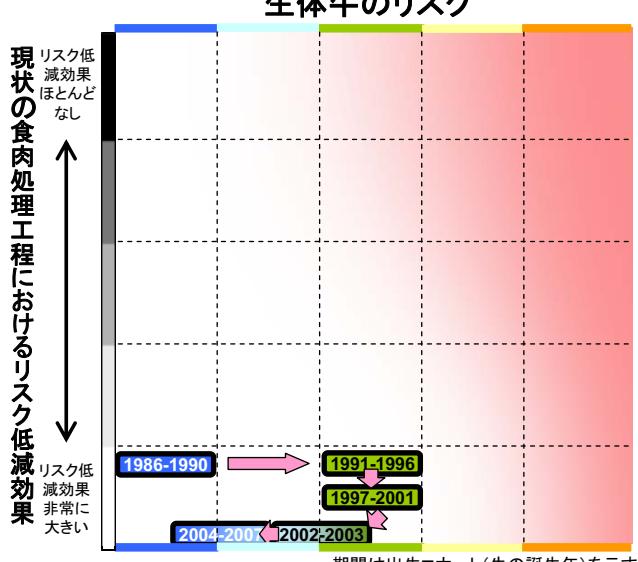
### <現在の食肉処理工程におけるリスク低減効果>

食肉処理工程におけるリスク低減効果	リスク低減効果非常に大きい
-------------------	---------------

### 総合評価(案)



### 生体牛のリスク



## 評価結果のまとめ(案)(ハンガリー)暫定版

### <侵入リスク>

	1986-1990	1991-1995	1996-2000	2001-2005	2006-
生体牛	非常に低い	高い	高い	高い	中程度
肉骨粉	高い	高い	高い	高い	中程度
全体	高い	高い	高い	高い	中程度

\*回答書では2005年以降の肉骨粉のデータがないため、貿易統計のデータを暫定的に用いた。

### <国内安定性>

曝露・増幅する可能性	中程度	低い	非常に低い	無視できる
	1986	1991	1998	2002

### <現在の食肉処理工程におけるリスク低減効果>

食肉処理工程におけるリスク低減効果	リスク低減効果 非常に大きい
-------------------	-------------------

### 総合評価(案)

